

笑顔ひろがる 豊かなくらし  
食の安全 子どもの未来 地球環境 守りたい

機  
関  
紙

# よどがわ 7 JULY 2020.6.29 No.418

次号は8月3日発行です



## CO・OP 商品60周年



～ 組合員のために生まれた商品たちの歴史ご紹介 ～

1960年からCO・OP商品は、組合員の想いをかたちにしてきました。商品の開発や改善には多くの組合員が関わってきた歴史があります。今年誕生60周年を迎えるにあたり、それぞれの時代に生協が組合員の願いや想いを受け止め、社会の中で果たしてきた役割、追求してきた価値について紹介します。



1960 コープ商品第1号 CO・OP生協バター発売

### ～ 60年代

メーカーの管理価格に対抗して、安定的により安く供給するために

1961 コープ商品第2号CO・OPみかん缶発売

高度成長の時代、インフレや公害、メーカーの販売価格管理などの課題に対する取り組みとしてコープ商品の開発が始まりました。

1966年、5,000人による使用テストを初めて実施。環境や手肌に配慮した洗剤が生まれました。

1971 CO・OP無漂白生協小麦粉発売

### 70年代

物価高騰と有害食品不安の中で共同購入の急速拡大を支える

1973 CO・OP無着色たらこ CO・OP無漂白塩かすの子発売

有害食品や不当表示などが大きな問題となり、「コープ商品政策」に不必要な食品添加物を排除することを明記しました。

1977年、8,000人の組合員の声を反映し、コープ化粧品第一号が誕生しました。

1981 CO・OPミックスキャロット発売

### 80年代

組合員が飛躍的に増加する中、各地でコープ商品開発が進む

1983 CO・OP コアノンロール発売

共同購入の週1回定曜日配達定着し、1980年代半ばには全国の組合員数が1,000万人を突破しました。多くの組合員がコープ商品の開発・普及の取り組みに参加しました。

1980年、日本生活協同組合連合会の商品検査センターのデータに基づき、食品の栄養表示を開始しました。商品検査センターの検査風景

1994 CO・OP 野菜たっぷり和風ドレッシング発売

### 90年代

地域生協の事業連帯が進展 多様なテーマでコープ商品を開発

1995 コンセプト開発第1号「日本シリーズ」誕生

全国の生協の力を結集した価格競争力のある商品開発が始まり、テーマ性のある商品開発もスタートしました。

環境問題となっていた飲料缶プルタブ。ステイオンタブへの切り替えを業界に先駆けて進めました。

2002 全国生協とのコープ商品共同開発スタート

### 00年代

全国共同開発が進み 新たな全国生協ネットワークの構築へ

2006 「新・コープ商品政策」この政策に基づき「新・低価格商品」などのテーマ別開発を進める

「安全・安心」の理念はそのまま、低価格商品の強化を本格化。まとまった数量にすることでコストダウンを図りました。組合員のニーズの多様化に応え、テーマに沿った商品開発も行われました。

「確かな品質をお求め安く」をめざして、2010年「コープベーシックシリーズ」デビュー

2014 ラブコ誕生

### 10年代～

組合員の想いを受け止め、未来へつながるコープ商品をめざす

2015 コープクオリティ誕生

コープ商品のブランドを刷新。おいしさにこだわった「コープクオリティ」、子育て世帯を応援する「きらきらステップ」や、環境や社会に配慮した「コープのエシカル」、健康課題に応えた「ヘルシーコープ」など、新たな取り組みが開始されました。

想いをかたちに SMILING CO-OP

2017 コープのエシカル

2020 健康づくり応援シリーズ誕生

他にはない「特別」が、くらしの「あたりまえ」になるように、60年間ずっと、CO・OP商品をつくり続けてきました。これからも、組合員の声から生まれるたくさんの「特別」がすてきな「あたりまえ」になりますように。

♡♡ これからも生協をどうぞよろしくお願ひいたします ♡♡



<https://www.yodogawa.coop/>

よどがわ生協 検索



よどがわ生協公式 facebook ページ

よどがわさん(大阪よどがわ市民生活協同組合)



よどがわ市民生活協同組合は環境マネジメントシステムに基づいたとくみを行なっています。